



# にのみやグループは「あいあいねっと」を応援しています。

にのみやグループが全力で応援する、特定非営利活動法人「あいあいねっと」の活動には、管理栄養士の原田佳子（二宮内科）や事務長の松島雅也をはじめ、多くのグループ職員が参加しています。基幹事業として位置づけているフードバンクは、全国的にも認知されはじめており、今後の活躍に期待が高まっています。



## 活動報告

助けあい・支えあいで縁結び。「あいあいねっと」は、フードバンク事業の普及と、地域の活性化を目指して様々なイベントに参加しています。

- 可部工房村イベント（パネルでの活動紹介／8月30日）
- 亀山南小学校35周年記念行事（チャリティーバザー・活動紹介／9月6日）
- 三田クリニック地域感謝祭（チャリティーバザー／9月21日）
- 環ヶ渓ハッパ in よしおじま（活動紹介／10月12日）
- 第1回フードバンクシンポジウム（活動紹介／10月16日）
- 安佐北区ボランティアフェスタ（ブース出展／10月18日）
- 第5回可部まちめぐり（事務所開放／10月19日）
- 第3回にのみやグループ地域感謝祭（チャリティーバザー／10月26日）

## 第1回フードバンクシンポジウム

去る10月16日に新生銀行本店・新生ホールにおいて第1回フードバンクシンポジウムが開催されました。



一般の方、食品関連企業の方、ボランティア、マスコミ関係者（15社）の方など総勢115名が参加。その関心の高さがうかがわれました。シンポジウムでは、「フードバンクという挑戦」の著者でジャーナリストの大原悦子さんの基調講演や各パネリストによる報告などが行なわれ、「あいあいねっと」からも副理事長の松島雅也がパネリストとして参加しました。

パネリストとして参加した松島雅也にインタビューをしました。



マスコミ各社が勢揃いでしたね。

関心の高さがうかがえます。全国的にも認知されてきた活動なので、ある程度予想はしていましたが、ちょっとびっくりです。

パネリストとしての活動報告はいかがでしたか。

「あいあいねっと」が目指すところは、フードバンク事業を充実させることはもちろんですが、最終目的は広い意味での地域支援です。配食サービスにおける問題点やインフラ整備の必要性、高齢者がおかれている現状をかんが鑑みたうえで、活動の重要性を訴えました。シンポジウムでは、「フードバンク」というバックボーンがあり、医療・福祉関係者が多数協力してくれています。

そうした強みをいかんなく発揮した活動を展開していきたいと思っています。

シンポジウムで特に印象に残ったことは？

基調講演をされたジャーナリストの大原悦子さんが「日本には、『もったいない』『困った時はお互い様』という文化がある。こうした精神をいかし、日本型のフードバンクを作っていくことが大切だ」と言っておられました。

その言葉にとても共感しました。

一北海道や山梨でもフードバンクを立ち上げる動きがありますが？

素晴らしいことだと思います。

地域によって活動に違いはあると思いますが、その特性に応じた方法を選択するべきだと思います。

我々も後に続く方々のモデルになれるよう頑張っていきたいですね。

パネリストとして参加した松島雅也にインタビューをしました。

（略）



